



2023年8月14日

各位

会社名 株式会社アゴーラ ホスピタリティグループ
代表者名 代表取締役社長 クォック・ゲイリー・ヤン・クエン
(コード：9704、東証第1部)
問合せ先 財務経理部 部長 石井 伸幸
(TEL. 03-3436-1860)

第2四半期業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2023年2月13日付で公表した2023年12月期(2023年1月1日～2023年12月31日)の第2四半期業績予想と本日公表の実績値との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2023年12月期第2四半期連結業績と実績値との差異(2023年1月1日～2023年6月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,200	百万円 △150	百万円 △250	百万円 △150	円 銭 △0.59
今回実績(B)	3,396	△138	△149	△56	△0.22
増減額(B-A)	196	11	100	93	
増減率(%)	6.1%	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績(2022年12月期第2四半期)	2,176	△824	△687	△794	△3.13

2. 差異の理由

2023年6月の訪日外客数は207万3千人と、新型コロナウイルス感染症の拡大により訪日外客数が大幅に減少した2020年2月以降、初めて200万人を突破し、2019年の同月比72%に回復しました。そのような背景のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同四半期を大きく上回る3,396百万円(前年同四半期比56.1%増)となり、また、宿泊事業における売上高は2,916百万円(前年同四半期比67.0%増)となりました。次に、霊園事業および住宅等不動産開発事業等を行っているその他投資事業の売上高は前年同四半期を上回る479百万円(前年同四半期比11.7%増)となりました。

営業費用については、継続的なコスト削減に努めておりますがエネルギーコストの増加、人件費の増加の影響もあり営業損失は138百万円(前年同四半期は営業損失824百万円)となりました。ま

た、営業外収益として為替差益 67 百万円を計上いたしました。なお、前年同四半期には新型コロナウイルス感染症拡大防止等の支援金である受取協力金を 106 百万円計上しておりましたが、当期四半期においては同支援金の計上はございません。それらの結果、経常損失は 149 百万円（前年同四半期は経常損失 687 百万円）となりました。また、特別利益として今井荘の売却に伴う固定資産売却益 128 百万円を計上したほか、非支配株主に帰属する四半期純損失 33 百万円を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は 56 百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失 794 百万円）となりました。

以 上